

MAP Pの取組みの一環として
首長等を対象とした「ナノテラス視察会」を開催しました！

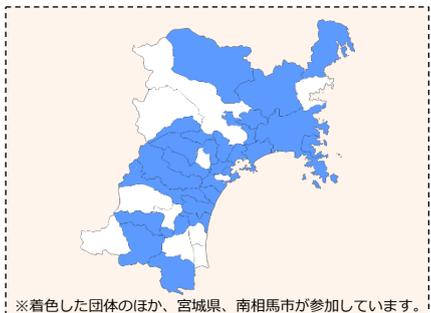
株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、MAP P（※）の取組みの一環として、宮城県内地方公共団体（以下「地公体」）の首長等を対象とした「ナノテラス視察会」（以下「本視察会」）を開催いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本視察会は、ナノテラス関係機関および地方公共団体等との連携を加速させ、地域におけるナノテラスの周知・啓蒙を強化することに加え、地元中小企業等に対するナノテラスの活用推進を目的に開催したものです。

※「MAP P」については、次ページをご参照ください。

記

1. 開催概要

開催日	2023年7月27日（木）および2023年7月28日（金）	
会場	ナノテラス（東北大学青葉山キャンパス内）	
参加団体	<p>地公体（MAP Pコアメンバー）：26団体 宮城県、仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、名取市、岩沼市、登米市、栗原市、東松島市、蔵王町、大河原町、柴田町、丸森町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、大衡村、色麻町、涌谷町、美里町、女川町、南相馬市</p>	 <p>※着色した団体のほか、宮城県、南相馬市が参加しています。</p>
主催	当行（MAP P事務局）	
協力	一般財団法人光科学イノベーションセンター、宮城県、仙台市、東北大学、一般社団法人東北経済連合会	

2. 当日の様子

【仙台市長によるご挨拶】



【施設見学の様子】



七十七グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

もっと、ずっと、地域と共に。

3. 「ナノテラス」について

東北大学青葉山キャンパス内に建設中の次世代放射光施設「ナノテラス」は、2024年度の運用開始を目指して、国・民間・地域が一体となって一つの大型研究施設を整備・運用する「官民地域パートナーシップ」という新しい枠組みで整備が進められている研究施設であり、日本における研究開発の質を向上させる「**ナノまで見える巨大な顕微鏡**」と言われています。

【ナノテラス上空写真】



【様々な分野での研究開発】



【SDGsの実現】



4. みやぎ広域PPPプラットフォーム（MAPP）の取組みについて

地方公共団体と締結している「地方創生に向けた包括連携に関する協定」等に基づく取組みの一環で、民間資金や民間ノウハウの活用に向けた官民の情報共有および対話促進を継続的に展開する場として「みやぎ広域PPPプラットフォーム（MAPP）」を形成しています。

(関連するSDGs)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言 ～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月より「SDGs実践計画」を策定しております。

以上